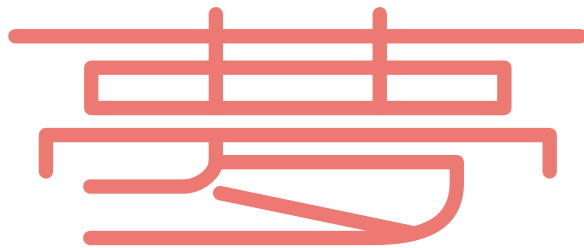


You ゆ & Me め



特集

ジェンダー平等と少子化対策

～性別役割分担意識を解消してだれもが安心して暮らせる社会へ～

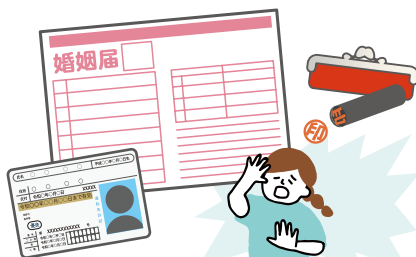
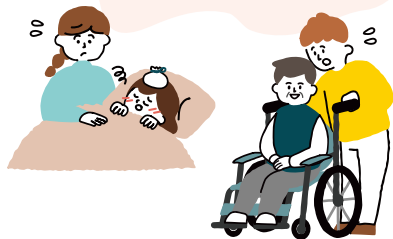
積極的に結婚したいと 思わない理由

(20～39歳の独身の男女が複数回答)

女性
38.6%

男性
23.3%

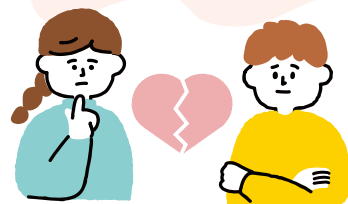
仕事・家事・育児・介護を
背負うことになるから



女性
48.8%

男性
36.2%

結婚するほど
好きな人に巡り合っ
ていないから



女性
25.6%

男性
11.1%

名字・姓が変わるのが
嫌・面倒だから

(内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」令和4年版より抜粋)

回答の中で最も大きな男女の差があった理由は「仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」でした(15.3%の差)。女性は、結婚に際して「仕事と家事の両立」を男性よりも重く受け止めている可能性が考えられます。

「男性は仕事、女性は家事育児」を当然とする考え方を「性別役割分担意識」といいます。このような意識から脱却し、性別や年代にかかわらず誰もが継続的に働きながら、家事育児に取り組める環境づくりは、近年深刻となっている少子化対策にも効果があるといえます。ジェンダー平等と少子化の関連について、専門家に意見を聞きました。